

【第1回】 コロナ禍における外国人留学生の現状
Series I : International students and the Covid-19 pandemic
質疑 (Discussion)

MSA (MEXT SCHOLARS ASSOCIATION) について

質問：MSA で行っている COVID 関連の翻訳したものは MSA の学生でなくても海外からの留学生であればアクセスすることはできるのでしょうか？

回答：アクセス可能です。

大学別の内部通知、あるいはそのような情報は翻訳依頼者に直接返信する形になりますが、入管・省庁の通知などの公開情報であれば、基本的に翻訳された内容は Facebook ページと弊団体の HP でも配信しており、こちらであれば誰でもアクセスできます。<Austin Zeng>

<https://mextsa.org/>

<https://www.facebook.com/mextscholars/>

質問：MSA のサービスが対象となっているのは、国費留学生に限りますか？

回答：一部はそうですが、COVID 関連の取り組みは特に制限していません。MSA が普段から運営しているオンラインプラットホームの一部は、国費生に限定しています。例えば MSA の活動目的の一つは、国内外の国費生・国費卒業生のコミュニティーを構築することであるため、その目的のもとで、弊団体が運営している LinkedIn に類似している「MSA Junction」は国費生のみが登録可能になっています。

ただし、Facebook ページでの情報配信は誰でもアクセスできますし、COVID に関しては、国費生が直面している問題はみなさんの問題でもございます。したがって、上記の翻訳サービスだったり、遠隔インターンシップの配信やオンラインキャリアカウンセリング（締切終了）は国費生には限定しておりません。<Austin Zeng>

質問：MSA サービスと連携している民間企業は関東が主体の様に見えますが、関西など他地域でも支援を行っていますでしょうか？

回答：オンラインの情報配信（今回のオンラインキャリアカウンセルも）、特に地域は限定しておりません。外部連携の実績で言いますと、確かに関東が活動範囲の会社が多いです。ただ、全国には関東以外にも5つの支部があり、北海道チームは現地の民間企業との協力を結んだところです。関西チームは過去、大学コンソーシアムひょうご神戸様・関経連様と留学生の就活に関する合同イベントを主催したことがあります。<Austin Zeng>

*Austin Zeng 文部科学省国費留学生協会代表から MSA のサービスに関する補足説明

こちらのメールアドレス (msa_covid19_translations@googlegroups.com) で公式書類をご共有いただけると有志のメンバーによる日英翻訳を行います。入管の情報・自治体の情報、大学の通知など、公式書類であれば OK です。翻訳が終わったら送信者に返信したうえで、基本的には公式書類の翻訳データをウェブに公開します。

また、キャリアに関する情報共有は弊協会の FB ページで配信しています。有給遠隔インターンとかキャリアカウンセリングも含めてです (カウンセリングの締め切りは終わりました)。<https://www.facebook.com/mextscholars/>

オンライン授業について

質問：オンライン授業実施における留学生のネット環境整備に補助されている大学等がありますか？

回答：日本人学生を含めた支援策を進めている大学はありますね。留学生のみに特化した支援策については、全体状況は調査してみないとわからないですね。引き続き、情報収集したいと思います。Facebook Group でも投げかけてみましょう。<芦沢>

質問：中国向けのオンライン授業に使えるアプリは QQ 以外にありますか？zoom が使えないので。

回答：近藤が聞いているところではこの二種が使いやすく、中国でもアクセス可能とのこと。ただ、IT に強い先生の受け売りなので、キチンと本人が検証をしたわけではありませぬので、悪しからず。Canvas が使いやすいと聞いています。<近藤佐知彦>

Moodle(<https://moodle.org/?lang=ja>)

Canvas(<https://www.instructure.com/canvas/>)

回答：使ったことはないのですが、アリババのサービスが可能性あるのではないのでしょうか。<FACEBOOK 新型コロナ禍と国際教育メンバーより情報提供>

<https://www.itmedia.co.jp/.../articles/2004/09/news109.html>

https://thebridge.jp/2020/04/alibaba-throws-down-the-gauntlet-in-chinas-video-conferencing-war?fbclid=IwAR3c_3CfNV8yDmzetJ6DoyL8vYSrf0xpOX2hE_xUfA1LS46CmbEH90HBwbU

回答：ZOOM はいま中国国内でも使えます。<FACEBOOK 新型コロナ禍と国際教育メンバーより情報提供>

回答：中国人向けの進学予備校を運営しておりまして、授業は全てオンラインへ切り替えが完了しています。いくつかオンラインとライブ配信と端末に応じてアプリは使い分けていますが、一つは、”小鵝通”という百度の教育向けアプリは非常に中国本土でも人気で弊社でも使い勝手が良いと評判です。

<https://www.xiaoe-tech.com/APPClass?xeuti=itueux>

パソコン向けで、もう一つのソフトは、<http://www.polyv.net/>というシステムを利用しています。＜FACEBOOK 新型コロナ禍と国際教育メンバーより情報提供＞

質問：新規入国予定学生に留学生 VISA が発給されない状態で学校機関がオンライン授業を提供すること自体に問題はないのでしょうか？（VISA との関係で）この辺りは入管から指針など出ていますでしょうか？

回答：distance learning の場合、例えばカナダなどでは study permit 不要と明記されています。オンライン授業と distance learning を別物とするかどうかにもよるのかもしれませんが。＜FACEBOOK 新型コロナ禍と国際教育メンバーより情報提供＞

<https://www.canada.ca/.../stu.../who-needs-study-permit.html>

回答：P13 の(4)にありますね。

(4) 外国人留学生については、「出入国管理及び難民認定法第7条第1項第2号の基準を定める省令（平成2年法務省令第16号）」（以下「上陸基準省令」という。）では、専ら通信により教育を受ける場合は在留資格「留学」に応じた活動としては認められていないこと。ただし、今般の新型コロナウイルス感染症の対策として、学校運営上の対策を講じる目的などの観点から、必要な範囲内において、遠隔授業を実施することは、在留資格「留学」に応じた活動として認められる場合があること。なお、渡日前の遠隔授業の実施については、上陸基準省令に抵触するものではないこと。

＜FACEBOOK 新型コロナ禍と国際教育メンバーより情報提供＞

https://www.mext.go.jp/content/20200401-mxt_kouhou01-000004520_6_1.pdf?fbclid=IwAR0TgQfyeD_DL7XXNWgUtrDkxliPPMTbF8Y1bv9uc7DnSr3i83cVanre2M

質問：オンライン授業で日本人学生との交流ができないこともストレスだと思いますが、オンラインで交流に取り組んでいることはありますか？

回答：国際共修はもともとクラスに留学生と国内学生が集まる授業なので、オンラインであれ、履修学生がこの2グループでうまく構成されれば授業での国際交流ができます。留学生と学外の方々の国際交流だと、この状況を逆手にとって、時差さえ考慮しなければ距離を超えた交流ができるので、普段は行けないような遠い人々とオンラインで教育交流することが可能になります。ただ、まだ授業を実施していないのでどういう成果が出てくるかは未知数です。

課外活動での国際交流であれば、学生の方が ICT に慣れているので、オンラインでの新歓やレギュラーで行っていた coffee hour などの取り組みをオンライン化するよう始めているところもあるようです。＜FACEBOOK 新型コロナ禍と国際教育メンバーより情報提供＞

ビザについて

質問：学生ビザの延長方法について詳しい情報をサイトに載せて欲しいです。日本語学校の学生ビザが6月に切れてしまいます。その後の具体的な手続きについて知りたいです。

回答：ABKの白石さんの回答で法務省のページも紹介されています。＜芦沢＞

http://www.moj.go.jp/hisho/kouhou/20200131comment.html?fbclid=IwAR0vltQ9AyxGvKwTmZdc7hPX83ZVfH-Pc-EvqmA_bkKYCm4IcMLSrExJnk0

日本語学校について

質問：日本語学校の状況についての質問です。EJUの第一回実施が危ぶまれますが、授業や入試対策についてはどのように対応されていますか。

回答：引き続き、情報収集したいと思います。

学生受け入れ方針について

質問：この秋からの留学生受け入れについての方針を決められましたか？

回答：APUでは通常通りに受け入れを予定していますが、もし何らかの事情で入学時期を延期したい学生については、特例として入学時期を移行することは認めますが、ある一定の入学手続きはさせることとなります。すでに春入学生のなかで数十名が秋入学に以降しています。＜近藤祐一＞

学生の学習・生活保障について

質問：研究室に行かないといけな博士課程などの留学生がいます。特に、理系の留学生の場合、英語をツールにしている院生が多くいると思うと、このような留学生の学習と生活面に対して何かしら措置が検討されていますでしょうか。

回答：引き続き、情報収集したいと思います。

留学生の現状について（情報提供・ご意見）

- ・元留学生です。上智大学出身の留学生は5割が自分の母国にいます。
- ・サウジアラビアやUAEなどのアラブ諸国の多くは帰国命令が出ていますのでほぼ全員母国からの受講になります
- ・ヨーロッパからの留学生は、ヨーロッパ各国がロックダウン時には日本の方が安全だから日本に残って現在取り残されている、という人が特に短期留学生で多いような状況です。
- ・私は元留学生で、現在は日本で仕事をしております。外国人留学生のもう一つの課題としては、大学院進学を準備している学部生4年生が抱えている課題です。大学院出願に必要な英語テスト（TOEIC、TOEFL）受験できないことからはじめ、書類準備などが難しくなってきているようです。

- 日本語学校関係者です。4月入学予定者 90%以上が来日できていません。7月にずらして入学予定ですが、それすらずれ込むと経営上も危険な状態になりかねません…。
- 学会等が相次いで中止とされているので、予定通りの卒業ができるか未定です。